

地域から 国政新時代

私たちには、
あなたの力が
必要です。

立憲民主プレス号外編集部
埼玉県第1区総支部
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和
3-6-11 松本ビル2F
Tel.048-832-3810
Fax.048-832-3846
voice@takemasa-k.jp
http://takemasa-k.jp

RIKKEN MINSHU

2018.12.1

号外

立憲民主

The Constitutional Democratic Press



国民主権の実現に向けて

埼玉県第1区総支部長(前衆議院議員)たけまさ公一

昨年衆議院議員選挙で議席を失いはや2年目を迎えました。この間、皆様には「捲土重来を期す」とした私を変わらず叱咤激励をいただいたことに心から御礼感謝を申し上げます。

5月24日には、立憲民主党埼玉県第1区総支部長の承認を得ました。希望の党解散に伴い自ら決めたことですが、皆様に十分ご相談できなかった点をお詫び申し上げます。

昨年衆議院議員選挙直前の急な解党新党は「永田町の理屈」であり、二度とやっではならないという深い反省の下、野党第1党の得票支持を得た立憲民主党を中心に野党連携を進めるべきと考えました。もちろん、憲法など立憲民主党の政策については、民進党憲法調査会事務局長として取りまとめてきた内容と整合しているなど、これまでの主張と齟齬はありません。また、人権や食や教育などについて政策の幅を広げることでもできると考えました。

松下政経塾を卒業し、埼玉県議会から衆議院に挑戦した原点は、「国民が主人公の国づくり」すなわち「国民主権」の実現にありました。

国民の代表が集う「国権の最高機関」と教わった国会よりも「お上」といわれる役所が強い現状を変えたい。そのためにも、国民が政権・政党・政策を選ぶように選択肢を提示する。だから、「政権交代可能な状況」と目指して取り組んで実現してきました。

しかし、政権を担っても期待に応えられず野に下りました。そして、昨年、残念ながら、野党が分断されてしまいました。

「国民主権」実現のためには、議会国会の最大の責務の一つである「行政監視」力を強める取り組みが欠かせません。そのためにも、「野党連携」を進め、来年の地方自治体選挙、参議院議員選挙に臨みます。いつあってもおかしくない解散総選挙に備えます。

問題課題は山積みで、日本の針路を間違ふことなくとるためにも、重ねて野党連携を、そしてその旗振り役を担ってゆきます。



ポスト東京五輪

具体的には、二年後のオリンピック後を見据えた経済政策です。大企業、お友達企業、外資系企業優遇の経済政策に対して、国民重視、地方重視、中小企業を含めた経済の底上げを図ることです。

安倍政権は、「この国を取り戻す」と言ってきましたが、実は「この国を売り渡してきたのではないか」と考えます。異次元の金融緩和、マイナス金利は国民の財産が生む利子を食いつぶした政策です。

地方の金融機関は疲弊し、地方経済は傷められました。水道事業、米・麦・大豆は、それぞれ水道法、種子法の見直しで外資参入を許しました。外国人は60万人増えました。研修生・留学生とごまかしているのは日本だけ、諸外国の基準は移民です。国会の議論もなし、法改正もなしです。ようやく臨時国会に提出されました。森友加計学園に続き、障がい者雇用率の改ざん。正しい情報を国民に伝えることに徹すべきであります。

地方分権の推進を 財政再建も先送り、若い世代次世代へのつけや借金は雪だるま式に膨れました。就学前の無償化と聞こえは良いものの、その財源は子どもや孫たちの将来の税金を先食いするものです。新たな財源の手当てがありません。

地方分権も後退しました。地方創生はうまくいっていません。やはり、権限財源を思い切って地方に移し、地方の責任で施策を進める必要があると思います。

外交安全保障も、米国に妥協を重ねたTAG（日米関税協定）条約です。イコールパートナーとして言うべきことを言える関係が必要です。一方的な妥協は認められません。

また、米国に追随して核兵器禁止条約反対の日本は、オブザーバーとして会議への参加、核の傘に守られた国に呼び掛けた、日本主導のNPDI(軍縮・不拡散イニシアティブ)を強力に進めるべきです。

さらに、安倍政権が進めているのは、歯舞色丹二島先行返還ではないか、そこにプーチン提案が出たのではないか、国後択捉が置いてきぼりは許されません。

報道自由度ランキングも世界67位まで下がりました。安倍政権で50位近く順位を下げました。テレビ新聞は真実を伝えません。それをニュースソースとするSNS（Twitter、Line、Facebookなど）もフェイクニュースが蔓延、Facebook社は個人情報漏洩で政府の行政指導を初めて受けました。

「ビックデータ」と、名前はカッコいいですが個人情報の集積です。EU（ヨーロッパ連合）はGoogle社やFacebook社に数千億円の課徴金を課しました。個人情報の漏洩です。アメリカ型か、EU型か日本も岐路にあります。私は、個人・国民・地方重視の立場を取りたいと思います。

さいたまの災害対策 これまでにない災害が起きたこの夏。西日本豪雨災害の岡山県真備町でのボランティア活動がスタートでした。関西空港の浸水、北海道での土砂崩れ、一斉停電（ブラックアウト）、塩害に首都圏JR計画運休。安全と言われるさいたま市も例外ではありません。

たけまさ公一 地域懇談会

11月30日 [金] 18:30~20:00
東岩槻ふれあいプラザ

今回のテーマ
災害対策・食の安全・憲法
外国人・年金・農業
地下鉄 他

参加費 無料 どなたでもご参加いただけます。

立憲民主党埼玉県第1区パートナーズ会議 Rikken Saitama 第1区カフェ

11月23日 [金] 16:00~18:00

北浦和カルタスホール

浦和区北浦和1-7-1 クイーンズ伊勢丹3F

対象 立憲パートナーズ 参加費 無料

※パートナーズ未登録の方は当日受け付けます。パートナーズ登録料:500円

たけまさ公一のプロフィール

- 昭和36年（1961年）生まれ
- 木崎小・中学校／県立浦和高校
慶應義塾大学法学部政治学科卒
- （財）松下政経塾 前衆議院議員
- 元外務・財務副大臣
- 元衆議院憲法審査会会長代理
- 埼玉県合気道連盟会長
- 埼玉県ボウラーズ連盟会長
- さいたま市ラグビーフットボール協会会長
- 浦和レッズ後援会理事

たけまさ公一事務所

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846

メール voice@takemasa-k.jp

たけまさ公一の 主な活動地域 埼玉県第1区



公式サイト
takemasa-k.jp



ツイッター
@takemasaKoichi



facebook ページ
takemasatoday



公式LINE@
たけまさ公一

第187回 たけまさ公一と語る会

展望2019(消費税他)

2018年 12月23日 [日]

14:00~16:00

浦和パルコ10階

浦和コミセン第11集会室

参加費 無料

終了後、会費制の懇親会を開催予定